

東京海上Rogge
世界ハイブリッド証券ファンド
(通貨選択型)
ロシア・ルーブルコース(毎月分配型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2013年9月4日から2026年9月17日 (2022年12月27日 繰上償還)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(毎月分配型)	主に世界の金融機関が発行するハイブリッド証券(劣後債、優先出資証券など)等を投資対象とする外国投資信託「東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドーロシア・ルーブルクラス」と、主に円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパー等に投資する親投資信託「東京海上マネーマザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドーロシア・ルーブルクラス	世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等を主要投資対象とします。
	東京海上マネーマザーファンド	円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。
投資制限	東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(毎月分配型)	・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドーロシア・ルーブルクラス	原則として、純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。
	東京海上マネーマザーファンド	・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。
分配方針	第1期および第2期の決算時には、分配を行いません。第3期以降の毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

繰上償還 運用報告書(全体版)

第110期(決算日 2022年10月17日)
第111期(決算日 2022年11月17日)
第112期(決算日 2022年12月19日)
第113期(償還日 2022年12月27日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型)ロシア・ルーブルコース(毎月分配型)」は、このたび、2022年12月27日をもちまして繰上償還となりました。ここに、運用経過と償還の内容をご報告申し上げます。
長年のご愛顧に対し厚くお礼申し上げますと共に、今後とも当社ファンドにつきましてお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口
東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016
受付時間：営業日の9時～17時
<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近28期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 税 分	価 達 配	額 み 金	騰 落	中 率	債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
	円 銭			円		%		%		%	百万円
86期(2020年10月19日)	4,022			60	△	2.8		0.0		98.4	314
87期(2020年11月17日)	4,063			60		2.5		0.0		98.1	319
88期(2020年12月17日)	4,174			60		4.2		0.0		99.1	328
89期(2021年1月18日)	4,141			60		0.6		0.0		98.9	323
90期(2021年2月17日)	4,176			60		2.3		0.0		98.8	319
91期(2021年3月17日)	4,244			60		3.1		0.0		98.6	318
92期(2021年4月19日)	4,049			60	△	3.2		0.0		97.4	289
93期(2021年5月17日)	4,108			60		2.9		0.0		99.1	291
94期(2021年6月17日)	4,247			60		4.8		0.0		98.8	302
95期(2021年7月19日)	4,116			60	△	1.7		0.0		99.0	292
96期(2021年8月17日)	4,101			60		1.1		0.0		98.3	287
97期(2021年9月17日)	4,125			60		2.0		0.0		99.3	283
98期(2021年10月18日)	4,286			60		5.4		0.0		99.1	296
99期(2021年11月17日)	4,119			60	△	2.5		0.0		98.9	280
100期(2021年12月17日)	4,061			60		0.0		0.0		99.1	252
101期(2022年1月17日)	3,833			60	△	4.1		0.0		98.8	236
102期(2022年2月17日)	3,792			30	△	0.3		0.0		97.6	230
103期(2022年3月17日)	2,365			0	△	37.6		0.0		97.5	141
104期(2022年4月18日)	3,740			0		58.1		0.0		98.5	223
105期(2022年5月17日)	4,642			0		24.1		0.0		98.8	277
106期(2022年6月17日)	5,283			0		13.8		0.0		99.1	315
107期(2022年7月19日)	6,160			0		16.6		0.0		99.3	367
108期(2022年8月17日)	5,893			0	△	4.3		0.0		99.3	351
109期(2022年9月20日)	6,251			0		6.1		0.0		99.5	373
110期(2022年10月17日)	6,100			0	△	2.4		0.0		99.5	364
111期(2022年11月17日)	6,430			0		5.4		0.0		99.6	383
112期(2022年12月19日)	6,402			0	△	0.4		—		—	122
(償還時)	(償還価額)										
113期(2022年12月27日)	6,400.69			—	△	0.0		—		—	109

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
第110期	(期 首)	円 銭	%	%	%
	2022年 9 月20日	6,251	—	0.0	99.5
	9 月末	6,395	2.3	0.0	99.5
	(期 末)				
	2022年10月17日	6,100	△2.4	0.0	99.5
第111期	(期 首)				
	2022年10月17日	6,100	—	0.0	99.5
	10 月末	6,408	5.0	0.0	99.6
	(期 末)				
	2022年11月17日	6,430	5.4	0.0	99.6
第112期	(期 首)				
	2022年11月17日	6,430	—	0.0	99.6
	11 月末	6,377	△0.8	0.0	92.3
	(期 末)				
	2022年12月19日	6,402	△0.4	—	—
第113期	(期 首)				
	2022年12月19日	6,402	—	—	—
	(償還時)	(償還価額)			
	2022年12月27日	6,400.69	△0.0	—	—

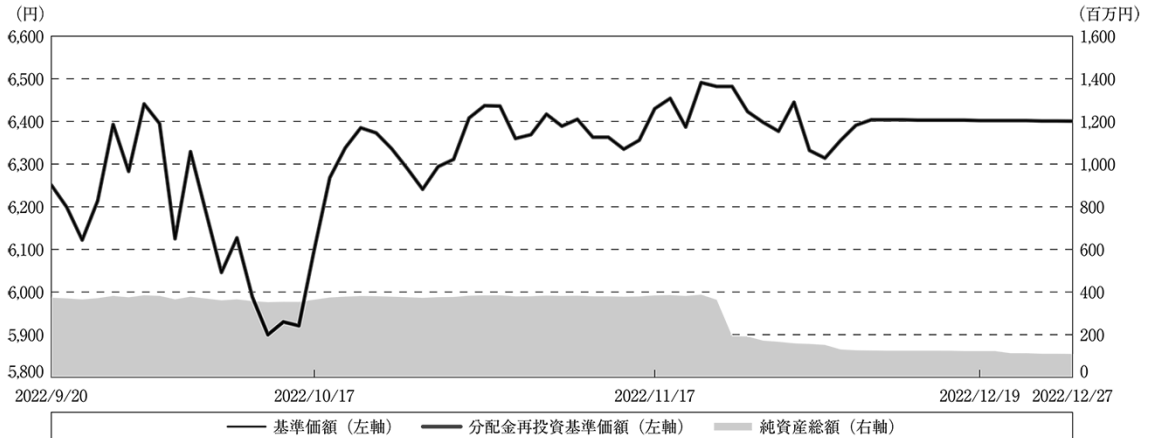
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○運用経過

(2022年9月21日～2022年12月27日)

■作成期間中の基準価額等の推移



第 110 期 首：6,251円

第113期末(償還日)：6,400円69銭(既払分配金(税込み)：0円)

騰 落 率： 2.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2022年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・ハイブリッド証券の利息収入
- ・原資産通貨売り／ロシア・ルーブル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)

マイナス要因

- ・インフレの進行に伴う政策金利の引き上げなどを背景とした主要先進国の国債利回りの上昇(債券価格は下落)
- ・政策金利の引き上げを受けた世界的な景気後退懸念の高まりなどを背景としたハイブリッド証券のスプレッド(国債との利回り格差)の拡大
- ・エネルギー価格の下落などを背景とした円高ロシア・ルーブル安の進行

■投資環境

【外国債券市場】

当作成期、米国債利回りは上昇しました。作成期初、堅調な米国経済指標やFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め姿勢を強めたことから、米国債利回りは上昇しました。その後、米国で雇用統計が一部弱含んだことや米国CPI（消費者物価指数）が事前予想を下回ったことなどから、FRBによる利上げペース加速への懸念が後退し、米国債利回りは低下しましたが、作成期間を通しては上昇しました。

ユーロ圏の国債利回りは上昇しました。作成期初、英国の財政政策に対する懸念が高まったことなどを背景にユーロ圏の国債利回りは上昇しました。その後、英国の財政状況やFRBによる利上げペース加速への懸念が後退したことを受けて、ユーロ圏の国債利回りは低下しましたが、2022年12月のECB（欧州中央銀行）理事会で大幅な利上げを継続する姿勢が示されたことから、ユーロ圏の国債利回りは上昇しました。

英国債利回りは上昇しました。作成期初、トラス政権の財政政策に対する懸念が高まったことから英国債利回りは上昇しました。その後、スナク新政権下で英国の財政状況に対する懸念が後退したことから、英国債利回りは低下しましたが、作成期間を通しては上昇しました。

【ハイブリッド証券市場】

当作成期、ハイブリッド証券の価格はおおむね横ばいとなりました。FRBによる金融引き締め姿勢や英国の財政悪化などからハイブリッド証券のスプレッドは一時拡大したものの、その後英国の財政悪化に対する懸念の後退や米国CPIが事前予想を下回り、FRBによる利上げペース加速への懸念が後退したことなどを背景に、ハイブリッド証券のスプレッドは縮小し、前作成期末対比ではおおむね横ばいとなりました。

【為替市場】

ロシア・ルーブル円為替レートは円高ロシア・ルーブル安となりました。作成期初から2022年10月にかけて、おおむねボックス圏での推移となりました。その後、世界経済減速への懸念からエネルギー価格が下落したことなどを背景に、円高ロシア・ルーブル安が進行しました。

■ポートフォリオについて

<東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月分配型）>

当ファンドは、「東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・フアンドーロシア・ルーブルクラス」（以下、外国投資信託証券）および「東京海上マネーマザーファンド」（以下、親投資信託）を投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額は、外国投資信託証券の値動きを反映し、2.4%上昇しました。

<外国投資信託証券>

作成期間を通じて、ハイブリッド証券等の組入比率を高位に維持しました。

当作成期は、発表された経済指標や主要中央銀行による金融政策の動向などが相場変動の要因となるなか、発行体の財務状況を改めて精査し、市場流動性などを勘案して運用しました。

また、原資産通貨売り／ロシア・ルーブル買いの為替取引を行い、ロシア・ルーブルの通貨比率を高位に保つ運用を行いました。

2022年11月21日以降は、当ファンドについて長期間停止してきた解約およびスイッチングを再開するため、ロシア・ルーブルの下落リスクや為替取引のコスト等の受益者間の公平性を考慮し、外国投資信託証券でのロシア・ルーブルに関する為替取引を解消し、実質的に米ドル建ての運用としました。

以上のような運用の結果、基準価額（分配金再投資）は上昇しました。

<親投資信託>

元本の安全性と流動性を重視し、政府保証債や地方債を中心とする円建て短期公社債に投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

■分配金

当作成期においては、運用の効率性などを勘案して、収益分配を行わないこととしました。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第110期	第111期	第112期
	2022年9月21日～ 2022年10月17日	2022年10月18日～ 2022年11月17日	2022年11月18日～ 2022年12月19日
当期分配金	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,958	3,033	3,033

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○設定来の運用経過

(2013年9月4日～2022年12月27日)

■設定来の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・ハイブリッド証券の利息収入
- ・原資産通貨売り／ロシア・ルーブル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気後退と、それに伴う主要中央銀行による大規模な金融緩和から欧米の国債利回りが低下したこと（債券価格は上昇）

マイナス要因

- ・インフレの進行に伴う政策金利の引き上げなどを背景とした主要先進国の国債利回りの上昇（債券価格は下落）
- ・政策金利の引き上げを受けた世界的な景気後退懸念の高まりなどを背景としたハイブリッド証券のスプレッド（国債との利回り格差）の拡大
- ・対ロシア経済制裁発動に伴う円高ロシア・ルーブル安の進行

■投資環境

【外国債券市場】

米国債利回りは上昇しました。2016年前半にかけて、FRB（米連邦準備制度理事会）による量的金融緩和縮小が実施されたものの、米国景気の減速が懸念されたため、米国債利回りは低下しました。2016年後半から2018年末にかけては、トランプ米大統領による減税政策が実施されて各種経済指標が堅調に推移したことや、FRBが利上げを実施したことなどから米国債利回りは上昇しました。その後、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気後退とFRBによる大規模な金融緩和などから米国債利回りは低下しました。2021年以降は、インフレ率の上昇とFRBによる金融政策正常化への動きから米国債利回りは上昇し、運用期間を通して米国債利回りは上昇しました。

ユーロ圏の国債利回りは上昇しました。2016年前半にかけて、ユーロ圏の景気下支えを目的とした、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和姿勢からユーロ圏の国債利回りは低下しました。その後、英国のEU（欧州連合）離脱決定により投資家のリスク回避姿勢が高まったことや、2018年後半の世界的な景気後退懸念、2020年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気後退とそれに伴うECBによる金融緩和などを背景にユーロ圏の国債利回りは低下基調が継続しました。2021年以降は、インフレ率上昇に対する懸念とそれに伴う各国中央銀行の金融政策正常化への動きからユーロ圏の国債利回りは上昇し、運用期間を通して上昇しました。

英国債利回りは、ブレグジット（英国のEUからの離脱）や新型コロナウイルス感染拡大から2020年にかけて低下しましたが、その後はBOE（イングランド銀行）による金融引き締めを受けて上昇し、運用期間を通して上昇しました。

【ハイブリッド証券市場】

ハイブリッド証券の価格はおおむね横ばいとなりました。2016年の米国景気の減速やブレグジット、2020年前半の新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気後退懸念などからハイブリッド証券のスプレッドは急拡大する局面もありましたが、運用期間を通じてはおおむね横ばいとなりました。

【為替市場】

ロシア・ルーブル円為替レートは運用期間を通じて円高ロシア・ルーブル安となりました。2015年にかけて、クリミア危機とそれに伴う対ロシア制裁、原油価格の下落などを背景として、円高ロシア・ルーブル安となり、その後はおおむねボックス圏での推移となりました。2022年以降は、ロシアによるウクライナ侵攻から一時円高ロシア・ルーブル安となりましたが、その後ロシアの貿易収支改善により円安ロシア・ルーブル高が進行しました。

■ポートフォリオについて

<東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月分配型）>

当ファンドは、「東京海上ストラテジック・トラスト東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドーロシア・ルーブルクラス」（以下、外国投資信託証券）および「東京海上マネーマザーファンド」（以下、親投資信託）を投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、外国投資信託証券の値動きを反映し、109.3%上昇しました。

<外国投資信託証券>

運用期間を通じて、ハイブリッド証券等の組入比率を高位に維持しました。

運用期間中は、発表された経済指標や主要中央銀行による金融政策の動向などが相場変動の要因となるなか、発行体の財務状況を改めて精査し、市場流動性などを勘案して運用しました。

通貨比率は、原資産通貨売り／ロシア・ルーブル買いの為替取引を行い、ロシア・ルーブルの通貨比率を高位に保つ運用を行いました。

2022年11月21日以降は、当ファンドについて長期間停止してきた解約およびスイッチングを再開するため、ロシア・ルーブルの下落リスクや為替取引のコスト等の受益者間の公平性等を考慮し、外国投資信託証券でのロシア・ルーブルに関する為替取引を解消し、実質的に米ドル建ての運用としました。

以上のような運用の結果、基準価額（分配金再投資）は上昇しました。

<親投資信託>

元本の安全性と流動性を重視し、地方債を中心とする円建て短期公社債に投資してプラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

■分配金

当ファンドの収益配分方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、収益分配を行いました。各期の分配金額につきましては、後掲の「投資信託財産運用総括表」をご覧ください。

当ファンドは、2022年12月27日をもちまして償還となりました。最後に、受益者の皆さまのご愛顧に心よりお礼を申し上げますとともに、今後とも当社ファンドにつきまして一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 9 月21日～2022年12月27日)

項 目	第110期～第113期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 17	% 0.273	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.083)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.183)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.007)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.276	
作成期間の平均基準価額は、6,393円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

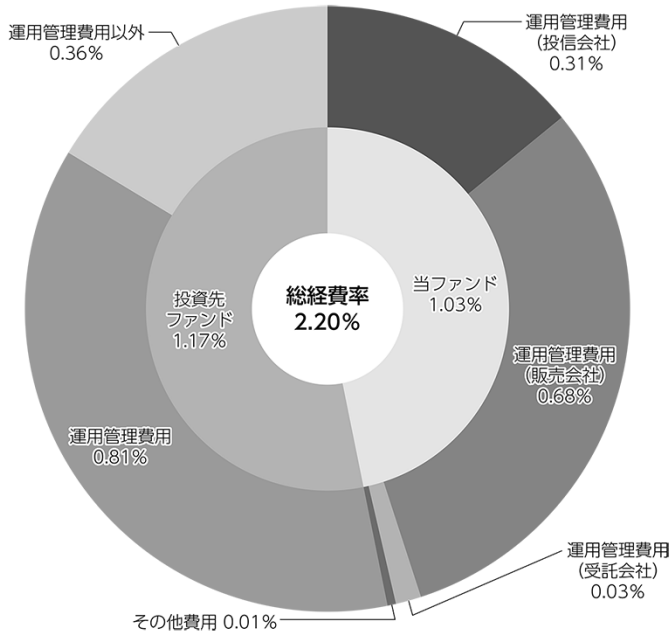
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.20%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.20
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.36

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。
 (注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
 (注) 投資先ファンドの費用は、「東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」の費用を基に算出しています。

○売買及び取引の状況

(2022年9月21日～2022年12月27日)

投資信託証券

銘			第110期～第113期			
			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	ケイマン	東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Rogge グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ ファ ン ド ー ロ シ ア ・ ル ー ブ ル ク ラ ス	千口	千円	千口	千円
			—	—	65	383,079

(注) 金額は受渡代金です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘		第110期～第113期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
東京海上マネーマザーファンド		—	—	9	10

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月21日～2022年12月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年12月27日現在)

2022年12月27日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘		第109期末	
		口 数	
東京海上ストラテジック・トラストー東京海上Rogge	グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンドーロシア・ルーブルクラス	千口	65
合	計		65

親投資信託残高

銘	柄	第109期末
		口数
東京海上マネーマザーファンド		千口 9

○投資信託財産の構成

(2022年12月27日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	113,099	100.0
投資信託財産総額	113,099	100.0

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第110期末	第111期末	第112期末	償 還 時
	2022年10月17日現在	2022年11月17日現在	2022年12月19日現在	2022年12月27日現在
	円	円	円	円
(A) 資産	364,451,469	384,232,760	125,171,262	113,099,323
コール・ローン等	1,977,453	1,698,338	125,171,262	113,099,323
投資信託受益証券(評価額)	362,464,002	382,524,408	—	—
東京海上マネーマザーファンド(評価額)	10,014	10,014	—	—
(B) 負債	279,032	330,375	2,204,305	3,373,462
未払解約金	—	—	2,019,067	3,347,556
未払信託報酬	276,047	326,848	182,962	25,403
未払利息	4	3	308	229
その他未払費用	2,981	3,524	1,968	274
(C) 純資産総額(A－B)	364,172,437	383,902,385	122,966,957	109,725,861
元本	597,010,737	597,010,737	192,067,607	171,428,179
次期繰越損益金	△232,838,300	△213,108,352	△69,100,650	—
償還差損金	—	—	—	△61,702,318
(D) 受益権総口数	597,010,737口	597,010,737口	192,067,607口	171,428,179口
1万口当たり基準価額(C／D)	6,100円	6,430円	6,402円	—
1万口当たり償還価額(C／D)	—	—	—	6,400円69銭

(注) 当ファンドの第110期首元本額は597,010,737円、第110～113期中追加設定元本額は0円、第110～113期中一部解約元本額は425,582,558円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり償還(基準)価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況

項 目	第110期	第111期	第112期	第113期
	2022年9月21日～ 2022年10月17日	2022年10月18日～ 2022年11月17日	2022年11月18日～ 2022年12月19日	2022年12月20日～ 2022年12月27日
	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 76	△ 86	△ 2,814	△ 2,093
支払利息	△ 76	△ 86	△ 2,814	△ 2,093
(B) 有価証券売買損益	△ 8,719,065	20,060,406	△ 352,050	586
売買益	—	20,060,406	1,306,183	—
売買損	△ 8,719,065	—	△ 1,658,233	586
(C) 信託報酬等	△ 279,028	△ 330,372	△ 184,930	△ 25,677
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 8,998,169	19,729,948	△ 539,794	△ 27,184
(E) 前期繰越損益金	19,470,119	10,471,950	9,716,503	8,190,585
(F) 追加信託差損益金	△243,310,250	△243,310,250	△ 78,277,359	△ 69,865,719
(配当等相当額)	(150,909,868)	(150,909,868)	(48,550,467)	(43,333,262)
(売買損益相当額)	(△394,220,118)	(△394,220,118)	(△126,827,826)	(△113,198,981)
(G) 計(D+E+F)	△232,838,300	△213,108,352	△ 69,100,650	—
(H) 収益分配金	0	0	0	—
次期繰越損益金(G+H)	△232,838,300	△213,108,352	△ 69,100,650	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	△ 61,702,318
追加信託差損益金	△243,310,250	△243,310,250	△ 78,277,359	—
(配当等相当額)	(150,909,868)	(150,909,868)	(48,550,467)	(—)
(売買損益相当額)	(△394,220,118)	(△394,220,118)	(△126,827,826)	(—)
分配準備積立金	25,702,896	30,201,982	9,716,531	—
繰越損益金	△ 15,230,946	△ 84	△ 539,822	—

(注) (B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	2022年9月21日～ 2022年10月17日	2022年10月18日～ 2022年11月17日	2022年11月18日～ 2022年12月19日
a. 配当等収益(費用控除後)	0円	0円	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	4,499,086円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	150,909,868円	150,909,868円	48,550,467円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	25,702,896円	25,702,896円	9,716,531円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	176,612,764円	181,111,850円	58,266,998円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,958円	3,033円	3,033円
g. 分配金	0円	0円	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円	0円	0円

○投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2013年 9 月 4 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年12月27日		資 産 総 額	113,099,323円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	3,373,462円
				純 資 産 総 額	109,725,861円
受益権口数	1,000,000口	171,428,179口	170,428,179口	受 益 権 口 数	171,428,179口
元 本 額	1,000,000円	171,428,179円	170,428,179円	1万口当たり償還金	6,400円69銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	1,048,821円	1,073,786円	10,238円	－円	－％
第 2 期	6,256,228	6,556,421	10,480	－	－
第 3 期	24,460,378	25,814,063	10,553	110	1.1
第 4 期	27,275,465	29,162,742	10,692	110	1.1
第 5 期	26,697,604	28,783,370	10,781	110	1.1
第 6 期	27,670,548	27,648,964	9,992	110	1.1
第 7 期	27,720,923	26,402,988	9,525	110	1.1
第 8 期	10,523,727	10,386,618	9,870	110	1.1
第 9 期	10,516,644	10,752,289	10,224	110	1.1
第10期	10,579,914	10,883,400	10,287	110	1.1
第11期	9,627,105	9,912,092	10,296	110	1.1
第12期	9,651,612	9,508,780	9,852	110	1.1
第13期	9,693,880	9,284,154	9,577	110	1.1
第14期	9,727,596	8,611,331	8,852	110	1.1
第15期	10,882,585	9,133,630	8,393	110	1.1
第16期	31,779,983	17,113,637	5,385	110	1.1
第17期	140,199,730	86,238,836	6,151	110	1.1
第18期	811,873,842	525,559,963	6,473	110	1.1
第19期	1,602,798,491	1,079,470,407	6,735	110	1.1
第20期	2,295,029,550	1,898,517,060	8,272	110	1.1
第21期	2,664,907,790	2,194,828,432	8,236	110	1.1
第22期	3,002,481,963	2,308,876,466	7,690	110	1.1
第23期	3,161,022,853	2,335,666,920	7,389	110	1.1
第24期	3,124,419,223	2,013,432,285	6,444	110	1.1
第25期	3,025,358,207	1,864,331,180	6,162	60	0.6
第26期	2,483,314,486	1,604,647,636	6,462	60	0.6
第27期	2,430,058,294	1,512,529,714	6,224	60	0.6
第28期	2,063,948,428	1,197,892,334	5,804	60	0.6
第29期	2,070,456,594	1,051,167,142	5,077	60	0.6
第30期	2,008,545,171	952,793,211	4,744	60	0.6

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	1,912,471,847円	1,034,192,451円	5,408円	60円	0.6%
第32期	1,980,873,689	1,079,851,286	5,451	60	0.6
第33期	2,082,290,906	1,167,743,464	5,608	60	0.6
第34期	2,012,699,880	1,064,125,628	5,287	60	0.6
第35期	2,057,670,823	1,157,806,529	5,627	60	0.6
第36期	1,933,106,691	1,039,985,036	5,380	60	0.6
第37期	1,728,623,183	927,038,434	5,363	60	0.6
第38期	1,785,167,029	1,004,394,409	5,626	60	0.6
第39期	1,828,034,526	1,036,204,920	5,668	60	0.6
第40期	1,898,791,266	1,204,234,841	6,342	60	0.6
第41期	2,401,040,131	1,543,011,616	6,426	60	0.6
第42期	2,843,364,824	1,871,989,608	6,584	60	0.6
第43期	2,862,351,855	1,869,418,049	6,531	60	0.6
第44期	3,027,177,859	1,983,237,143	6,551	60	0.6
第45期	2,969,248,836	2,037,764,166	6,863	60	0.6
第46期	2,736,178,838	1,806,228,297	6,601	60	0.6
第47期	2,733,978,649	1,783,788,376	6,525	60	0.6
第48期	2,727,174,791	1,765,632,270	6,474	60	0.6
第49期	2,384,399,932	1,590,912,999	6,672	60	0.6
第50期	2,164,351,930	1,463,754,827	6,763	60	0.6
第51期	2,044,830,990	1,335,748,414	6,532	60	0.6
第52期	1,944,481,217	1,291,296,725	6,641	60	0.6
第53期	1,944,960,317	1,317,376,229	6,773	60	0.6
第54期	1,782,564,938	1,133,657,013	6,360	60	0.6
第55期	1,724,798,519	1,060,722,686	6,150	60	0.6
第56期	1,609,617,728	923,947,634	5,740	60	0.6
第57期	1,611,377,278	930,781,455	5,776	60	0.6
第58期	1,774,624,702	1,003,092,847	5,652	60	0.6
第59期	1,753,178,291	1,020,228,107	5,819	60	0.6
第60期	1,705,366,363	906,876,280	5,318	60	0.6
第61期	1,719,766,836	899,667,137	5,231	60	0.6
第62期	1,724,985,861	922,244,968	5,346	60	0.6
第63期	1,693,171,280	891,674,351	5,266	60	0.6
第64期	1,696,691,455	875,686,479	5,161	60	0.6
第65期	1,433,152,182	715,799,156	4,995	60	0.6
第66期	1,411,766,446	722,801,204	5,120	60	0.6
第67期	1,386,189,276	737,115,306	5,318	60	0.6
第68期	1,382,827,591	752,639,362	5,443	60	0.6
第69期	1,371,621,251	728,626,030	5,312	60	0.6

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	1,323,398,541円	699,636,925円	5,287円	60円	0.6%
第71期	1,324,631,443	721,259,753	5,445	60	0.6
第72期	1,269,748,261	650,756,051	5,125	60	0.6
第73期	1,239,776,178	658,503,591	5,311	60	0.6
第74期	1,236,941,535	662,949,497	5,360	60	0.6
第75期	1,238,466,507	664,810,660	5,368	60	0.6
第76期	1,245,111,973	688,815,595	5,532	60	0.6
第77期	1,186,334,187	667,530,679	5,627	60	0.6
第78期	1,167,303,891	639,601,656	5,479	60	0.6
第79期	1,156,186,981	488,610,145	4,226	60	0.6
第80期	1,152,258,798	490,767,963	4,259	60	0.6
第81期	1,152,595,062	489,684,756	4,249	60	0.6
第82期	1,156,655,836	534,097,428	4,618	60	0.6
第83期	1,128,984,287	512,006,061	4,535	60	0.6
第84期	1,102,130,823	486,702,473	4,416	60	0.6
第85期	779,428,802	327,441,814	4,201	60	0.6
第86期	781,596,067	314,334,482	4,022	60	0.6
第87期	786,612,043	319,592,267	4,063	60	0.6
第88期	788,222,381	328,972,993	4,174	60	0.6
第89期	782,064,731	323,817,921	4,141	60	0.6
第90期	765,654,320	319,724,169	4,176	60	0.6
第91期	749,908,645	318,265,806	4,244	60	0.6
第92期	713,967,287	289,067,424	4,049	60	0.6
第93期	709,384,558	291,397,949	4,108	60	0.6
第94期	713,363,072	302,966,963	4,247	60	0.6
第95期	711,646,081	292,899,199	4,116	60	0.6
第96期	701,369,188	287,658,128	4,101	60	0.6
第97期	687,067,019	283,382,707	4,125	60	0.6
第98期	690,905,432	296,144,787	4,286	60	0.6
第99期	682,022,378	280,905,092	4,119	60	0.6
第100期	622,225,003	252,666,016	4,061	60	0.6
第101期	616,005,854	236,138,893	3,833	60	0.6
第102期	608,959,481	230,890,253	3,792	30	0.3
第103期	597,010,737	141,180,048	2,365	0	0.0
第104期	597,010,737	223,278,597	3,740	0	0.0
第105期	597,010,737	277,160,125	4,642	0	0.0
第106期	597,010,737	315,384,446	5,283	0	0.0
第107期	597,010,737	367,780,160	6,160	0	0.0
第108期	597,010,737	351,821,241	5,893	0	0.0

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第109期	597, 010, 737円	373, 170, 606円	6, 251円	0円	0. 0%
第110期	597, 010, 737	364, 172, 437	6, 100	0	0. 0
第111期	597, 010, 737	383, 902, 385	6, 430	0	0. 0
第112期	192, 067, 607	122, 966, 957	6, 402	0	0. 0

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税込み)	6, 400円69銭
------------------	------------